

[成果情報名]仕立てや整枝・剪定方法の違いが赤ワイン用ブドウ「カベルネ・ソーヴィニヨン」の特性に及ぼす影響

[要約]赤ワイン用ブドウ「カベルネ・ソーヴィニヨン」の垣根短梢剪定コルドンは、夏季剪定量はやや多いが、作業が単純で、収量1t/10a程度は確保できる。棚長梢剪定は、芽かきや新梢管理に時間を要するが、果房重が大きく、豊産性で、ワインの色がやや濃い。

[担当]果樹試・栽培部・醸造ブドウ栽培科・渡辺晃樹

[分類]技術・参考

[背景・ねらい]

本県において、仕立てや整枝・剪定方法の違いが赤ワイン用ブドウ品種「カベルネ・ソーヴィニヨン」の果実やワイン品質等に及ぼす影響は不明な点が多い。そこで、棚仕立て長梢・短梢剪定、および垣根仕立て長梢剪定ギョ・ダブル整枝（以下、ギョ）・短梢剪定コルドン整枝（以下、コルドン）の影響を比較し、栽培特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1．棚長梢においては、ベレゾーン期や着色期が早い。また、糖度はやや低いが、着粒が多く、果房重が大きいため、収量が多い。夏季剪定量は少ないが、節間が短く、新梢の発生が多いため、芽かきや新梢管理に時間を要する(表1、2、3)。
- 2．棚短梢においては、ベレゾーン期や着色期がやや早い。果房がやや小さく、収量は棚長梢よりやや劣る(表1、2)。新梢管理作業は棚長梢に比べ単純である。
- 3．ギョにおいては、着粒が少なく、果房重が小さいが、収量1t/10a程度は確保できる。棚仕立てに比べ作業時間はかからないが、夏季剪定量は多く、新梢の勢力にばらつきがみられる(表1、2、3)。
- 4．コルドンにおいては、発芽が早く、そろいが良い。収量は棚長梢に劣るものの、1t/10a程度は確保できる。夏季剪定量はやや多いが、作業は単純で容易である(表1、2、3)。
- 5．果実品質やワインの総合評価には、仕立てや整枝・剪定間で明確な差はみられないが、ワインの色の濃さは棚長梢がやや優れる傾向がある(表1、表2)。

[成果の活用上の留意点]

- 1．赤ワイン用ブドウでは、着果過多になると着色不良になりやすいので、目標収量に合わせて適切な摘房管理を行う。
- 2．欧州系ワイン用ブドウの棚長梢剪定では、節間が短く、新梢の発生数が多いので、芽かき作業で、新梢数を調整する。
- 3．棚短梢や垣根仕立てでは、簡易雨よけ施設の設置が容易である。

[期待される効果]

- 1．赤ワイン用ブドウ「カベルネ・ソーヴィニヨン」において、仕立てや整枝・剪定方法選択の際の参考資料となる。

[具体的データ]

表1. 仕立て・剪定方法の違いが生育および果実品質に与える影響 (2012~2014)

仕立て	剪定	生育特性		花穂 ^{z)} 数	着粒 ^{y)} 程度	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (°Brix)	pH	総酸含量 (g/L)
		ベレゾーン	着色日							
棚	長梢	8/19	8/20	2.2	2.8	138	1.6	21.3	3.23	9.8
	短梢	8/23	8/24	1.9	2.6	114	1.6	22.0	3.23	10.1
垣根	ギヨ	8/26	8/27	2.0	2.3	106	1.5	22.1	3.18	10.7
	コルドン	8/26	8/27	2.0	2.8	121	1.6	22.0	3.20	10.6

明野圃場(標高710m)、樹齢5~7年生、台木:101-14、棚仕立て:長梢剪定X字型整枝・短梢剪定一文字型整枝、垣根仕立て:長梢剪定ギヨ・ダブル(ギヨ)・短梢剪定コルドン、2012~2014年の平均値

試験規模:棚長梢=8~10樹(44~56樹/10a)、棚短梢=16樹(主枝長4.4m、100樹/10a)、垣根仕立て=1区10樹×3反復(株間1.0m×畝間2.0m、500樹/10a)

平均収穫日:10/19

^{z)}1新梢当たりの花穂着生数 ^{y)}着粒程度:1(極粗)~5(極密)

表2. 仕立て・剪定の違いが収量、樹体生育およびワインの評価に及ぼす影響 (2012~2014)

仕立て	剪定	幹周 ^{z)} (cm)	収量 ^{y)} (kg/10a)	摘房量 ^{y)} (kg/10a)	夏季 ^{y)} 剪定量 (kg/10a)	冬季剪定量 ^{x)}		ワイン品質 ^{x,w)}	
						1年枝 (kg/10a)	旧年枝 (kg/10a)	吸光度 530nm	総合評価
棚	長梢	17.3	1,170	277	198	118	7	1.194	3.1
	短梢	14.3	848	92	216	395	8	0.933	3.1
垣根	ギヨ	13.3	926	65	666	334	104	0.829	3.1
	コルドン	13.5	969	85	612	437	3	0.850	3.3

^{z)}2012~2014の平均値 ^{y)}2013~2014の平均値 ^{x)}2012~2013の平均値

^{w)}ワインセンターにて試験醸造、総合評価はワイン関係者のべ91名による官能評価の平均 1(劣)~5(良)

表3. 仕立て・剪定の違いによる各作業時間(2014)

仕立て	剪定	芽かき	誘引・新梢管理	除葉
棚	長梢	3.3	76.6	-
	短梢	0	42.9	-
垣根	ギヨ	5.3	45.5	14.3
	コルドン	14.6	56.6	14.6

10aあたりの時間(h)



図1. 垣根仕立ての整枝・剪定方法
(左:ギヨ・ダブル整枝、右:コルドン整枝)

[その他]

研究課題名:醸造用ブドウの高品質化に向けた栽培技術の確立

予算区分:県単

研究期間:2009~2014年度

研究担当者:渡辺晃樹、三宅正則、宇土幸伸、小松正和(ワインセンター)、恩田 匠(ワインセンター)